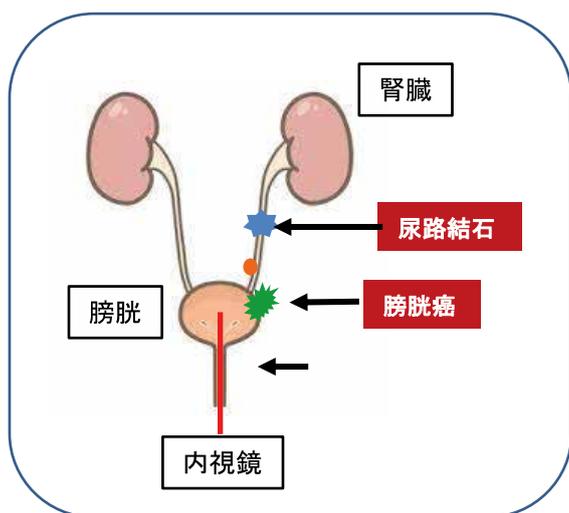


## テーマ：水漏れしない泌尿器手術用ドレープ

### ■ 背景

前立腺肥大など様々な泌尿器系手術には、ドレープが用いられている。尿路を經由して内視鏡で膀胱、尿道や腎臓などを検査する、あるいは手術する際には視界を確保するために大量の水を使用する。例えば前立腺肥大の手術では50-60リットルの水を使用するが、全ての水を受けて排水することが出来ない。実際には隙間などから大量の水が滴り落ち、床が水浸しとなる(手術終了時には数リットルの水が床に溜まることもある)。医療従事者が水に滑ると事故や怪我に結び付く恐れがあり、また手術後の清掃にも手間と時間を要する。

泌尿器科での内視鏡検査・手術は、表在性尿路上皮腫瘍、前立腺肥大、尿路結石、腹圧性尿失禁など多岐に渡る疾患で用いられている。



<出典：看護roo!>

### ■ 課題

灌流水を完全に受けることが出来て、床に水を落とさないドレープの開発を希望します。水が漏れる様子の実演やもし試作品をお持ちいただければ実用化に向けてユーステストすることも可能です。

### ■ 市場性

滋賀医科大学医学部附属病院泌尿器科でも年間200件を超える泌尿器系の内視鏡手術が実施されていることから、全国の泌尿器系施設では数万件の手術例があると思われる。ドレープは1着数千～3万円するため、1億を超える市場性があると推定される。

### ■ 泌尿器科学講座のホームページ

[https://sumsuro.jp/wp\\_sumsuro/](https://sumsuro.jp/wp_sumsuro/)